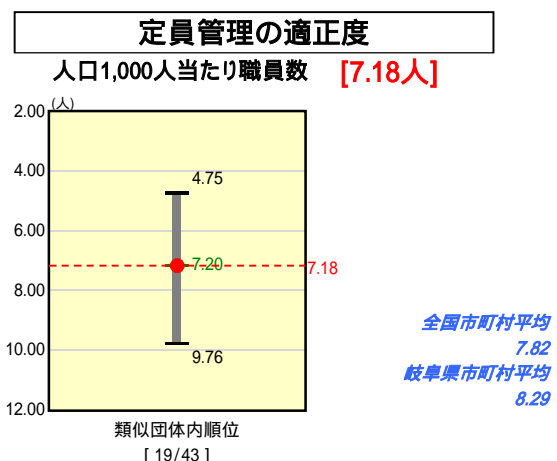
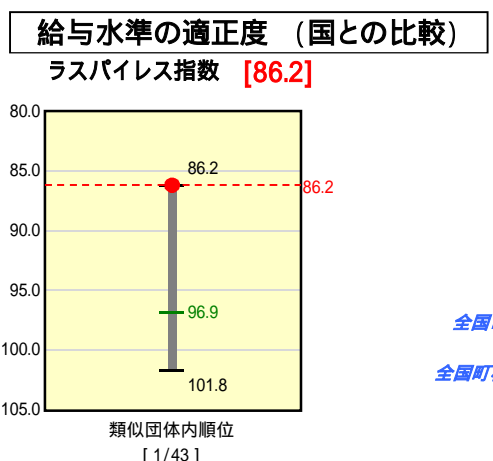
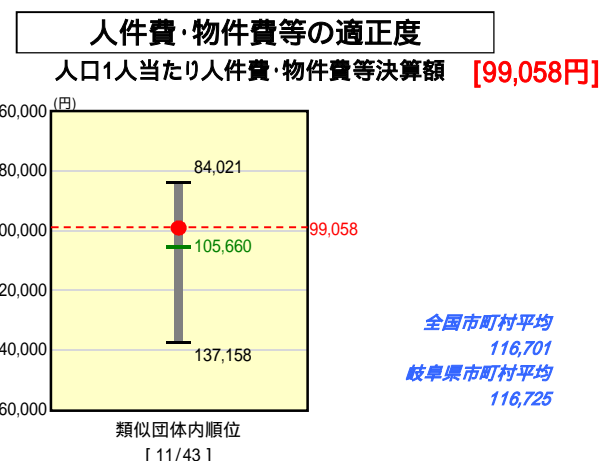
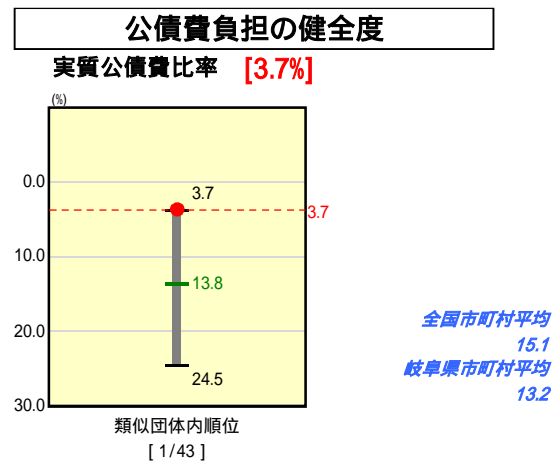
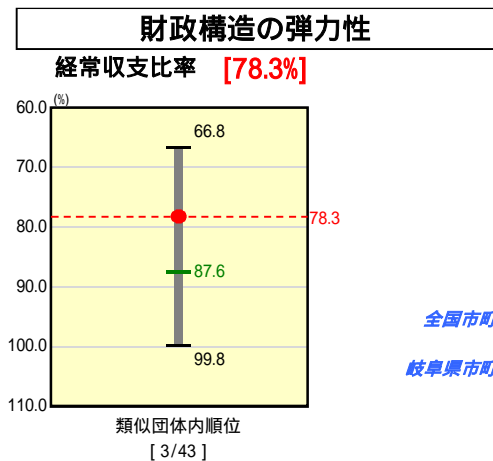
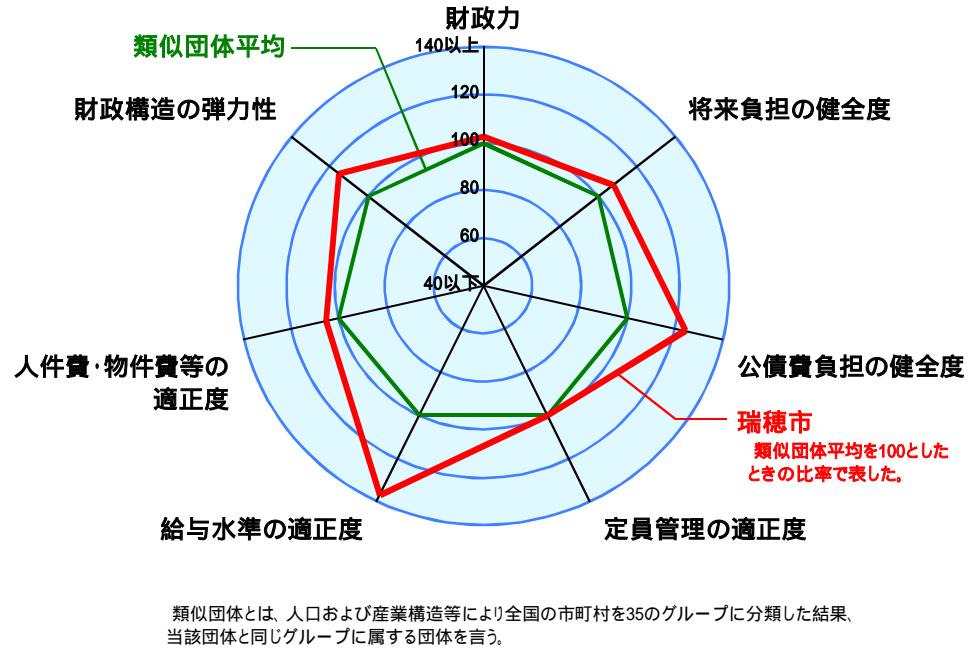
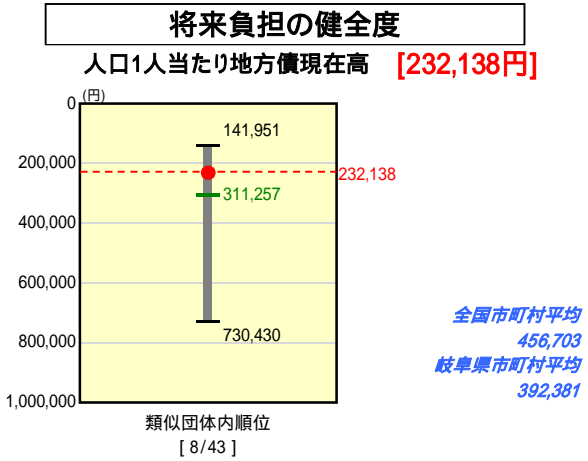
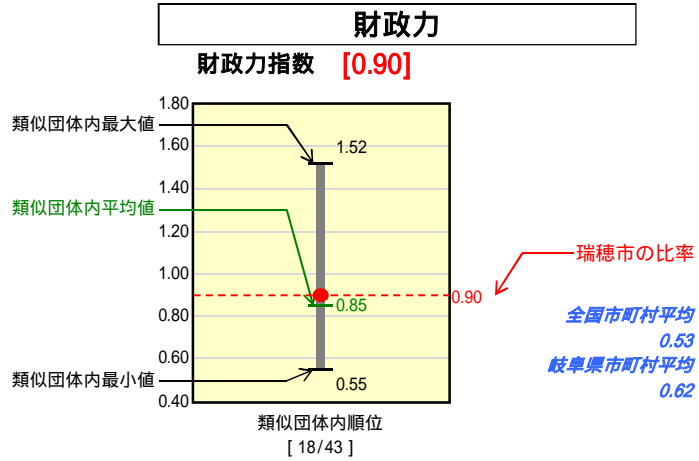


# 市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

## 岐阜県 瑞穂市

人口	47,929 人(H19.3.31現在)
面積	28.18 km <sup>2</sup>
歳入総額	14,440,110 千円
歳出総額	13,329,668 千円
実質収支	1,041,613 千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

【財政力指数】  
三位一体改革に伴う税源移譲(所得譲与税)や、人口増加(国調人口H12:46,563人 H17:50,009人)に伴う個人住民税所得割が増収となったため地方交付税への依存度が低くなり、財政力指数も向上しました。

【経常収支比率】  
類似団体平均を大きく下回る当市の経常収支比率は、弾力性のある財政構造となっていますが、高齢者医療等に係る扶助費や消防職員新規採用に伴う人件費の増加は数値を年々上昇させており硬直化がじわじわと進行しています。

【人件費・物件費等の適正度】  
集中改革プランに伴う職員採用の補充抑制、議員定数抑制(上限30人・現行20人)、経常経費削減努力により人件費・物件費は適正な水準にあります。

【ラスパイレズ指数】  
当市のラスパイレズ指数は類似団体のみならず、全市のなかでも最低値となっています。これは職員の年齢・経験年数構成に偏りがあるためであり、定員管理とあわせて是正が急務となっています。

【地方債現在高】  
過去の既発債は繰上償還効果により、将来負担が大幅に軽減されましたが、新規借入が急増したため類似団体平均に近い数値となりました。当市はH18～H19年度を「新市総仕上げの年」として位置付けており、大型合併関連事業に係る合併特別債の借入れが増えました。

【実質公債費比率】  
将来負担を軽減するため積極的に実施してきた繰上償還効果により、公債費償還額が大幅に抑制されました。また、起債借入についても、交付税算入率が高く財政上有利な合併特別債を活用するなどして比率を低減させました。

【職員数】  
類似団体内の平均のおさまっており、概ね適正水準となっていますが、今後も集中改革プラン・定員管理適正化計画、行政事務アウトソーシング等によって更なる適正化に務めます。